



すべての子どもたちに行き届いた教育を

—未来を担う学生たちに向けて—

SPLEA 中島憲子（中村学園大学）

報告の流れ

1. カンボジアとの出会いと決断
2. 活動内容と残された課題
3. 未来に向けて

★ 支援依頼 ★

1. カンボジアとの出会いと決断

【出会い（他大学の国際貢献をきっかけに）】

- ・「国際貢献」とは、大学に課せられた重要な責務がある→外国で活動の場を展開する
- ・教員養成学部としては、「学校教育支援」「教員養成支援」
- ・学生への還元・・・国際的な視野をもつ学生の育成は学生への教育効果を生み出す

【決断】

- ・私たちの支援に対する基本戦略の構築（5点）
- ・学生と共に「カンボジアの子どもたちに体育行事を」からスタート

2. 活動内容と残された課題

【2012～2023年までの活動】

年度	期	実施	学生	支援・活動内容
2012(H24)	1期	1月	44名	運動会(小)、ミニ運動会(小)
2013(H25)	2期	11月	75名	運動会(小・中高)、教員研修会、児童体力測定
2014(H26)	3期	11月	75名	運動会(小・中高)、音楽・美術・体育
	4期	3月		運動会(小)、音楽・美術・体育、幼児体力測定
2015(H27)	5期	11月	101名	運動会(小)、音楽・美術・体育
	6期	3月		運動会(小・中高)、音楽・美術・体育
2016(H28)	7期	11月	103名	運動会(小・教員養成校)、音楽・美術・体育、幼児教育支援、村民と稲刈り収穫祭
	8期	3月		運動会(小)、教員研修会、幼児教育支援
2017(H29)	9期	11月	111名	運動会(小)、音楽・美術・体育、サッカー交流会、孤児院養護施設訪問
	10期	3月		連合運動会、運動文化祭、教員養成校講義、幼児教育支援、
2018(H30)	11期	11月	184名	音楽・美術・体育、サッカー交流会、競技力向上、幼児教育支援、孤児院交流
	12期	2月		連合運動会、音楽・美術・体育、サッカー交流会、競技力向上、幼児教育支援
	Laos1	3月		サッカークラブ(小・中高)、幼稚園教育支援
2019(R1)	13期	11月	252名	音楽・美術・体育・科学、運動会、幼児教育支援、競技力向上
	14期	2月		【未実施】音楽・美術・体育・科学、運動会、幼児教育支援、競技力向上
	Laos2	3月		【未実施】音楽・美術・体育・科学、友好Festival、幼児教育支援
2020(R2)	国内	-	152名	国内活動：希望館の設立構想計画、寄付の収集、アーカイブ作成
2021(R3)	国内	-	100名	国内活動：文房具の郵送(船便)、勉強会(SDGs、貧困、等)、クラウドファンディング
2022(R4)	15期	2月	85名	運動会(小)、音楽・美術・体育・ダンス・英語、競技力向上
2023(R5)	16期	2月	99名	国内活動：希望館設立、寄付の収集、クラウドファンディング
	17期	3月		運動会(小)、音楽・美術・体育・科学、スポーツフェスティバル・孤児院養護施設訪問
合計(延べ)			1,381名	【カンボジア】幼稚園7園、小学校24校、中学・高校6校、教員養成校1校、児童養護施設3、孤児院3 【ラオス】幼稚園2園、小学校5校、中等学校1校、SOS子供の村ラオス

【残された課題】

- ・果たして、先進国からの教育支援は、被支援国・地域の人々の必要と要求に応えるものとなっているのか？
- ・先進国の教育システムを被支援国・地域の実情への配慮を欠いたまま持ち込むことは、一方的な押し付けに過ぎないのではないのか？
- ・教育の現代化を性急に求めることは、先進国が抱える様々な負の側面までも途上国・地域にもたらしはしないのか？
- ・教育基盤の整備・改革で最も大切なことは、現地の人々の手で、社会インフラの民主的成熟と呼応させながら、徐々に進めていくことではないのか？

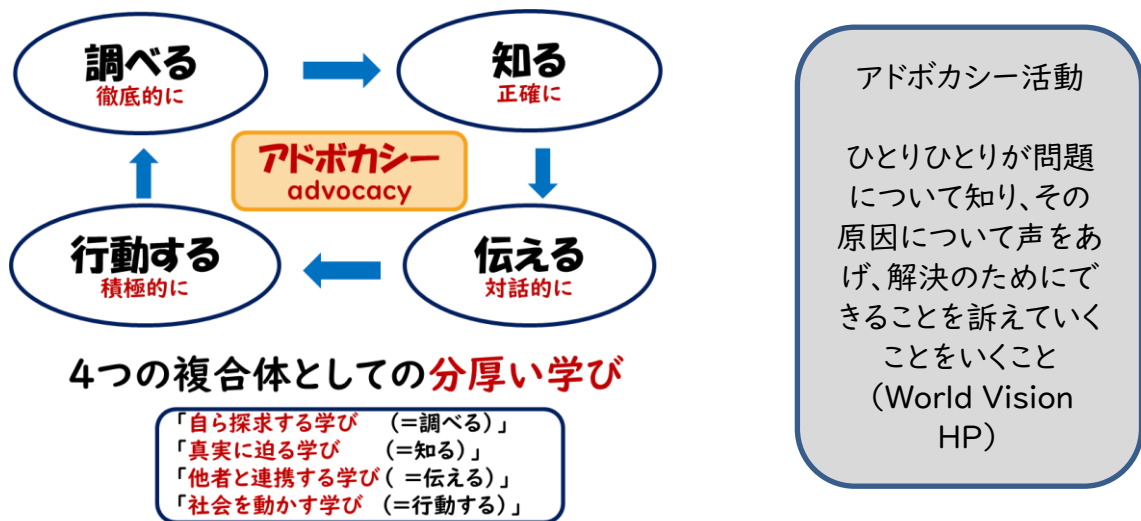
無自覚のうちに“先進国病”を途上国に移転していることになっていないか？

謙虚であると同時に、

支援国の主体性<被支援国の主体性

3. 未来に向けて（学生に向けて）

【アドボカシー活動を毎年コツコツと】



【支援活動を経て生まれる効力感と自己肯定感】

「人のために一肌脱ぐ」「自分もまんざらじゃない」

【同じ世代で社会を動かしている若者】

- ・原寛太さん（フリーランス国際協力士、）
- ・マララ・ユフザイさん（パキスタン生まれ、史上最年少17歳でノーベル平和賞受賞）
- ・グレタ・トゥンベリーさん（スウェーデン生まれ、16歳で国連気候変動サミット演説）

★ 支援依頼 ★

- ①希望館内に設置する本棚と机（本棚4個、机4個）
- ②支援校校門に設置するSPLEAの看板（15校分）
- ③寄付金



～今後の予定～

【学生引率等】

- 1) 2024年8月17-24日 現地調査と第18期教育支援活動(2~3名)
- 2) 2025年2月15-24日 第19期教育支援活動(35名)
- 3) 2025年3月1-10日 第20期教育支援活動(35名)

今後ともご指導ご支援いただきますようお願い申し上げます。



持参する前の仕分けの様子



カンボジアの子どもたちに学校体育のすばらしさを届けるプロジェクトから
Eradicate Poverty through Quality Education for All へ

問い合わせ(送付、寄付、コンタクト)

- 送付先: 8140198 福岡市城南区別府5-7-1 中村学園大学教育学部 中島恵子
- 入金先: ゆうちょ銀行 記号17030 番号19692001 代表者 村末勇介
店名708 店番708 普通口座1969200
- 中島恵子(なかしまのりこ) nakasima@nakamura-u.ac.jp 090-8411-9259

以上